

米で活動 長岡出身の2人



ともに長岡市出身の映画プロデューサーとグラフィックデザイナーが「新潟」の文字が入ったオリジナルTシャツを作り、米国ハリウッドで配り始めた。映画の本場で本県をアピールし、ロケ誘致につながるのが目的。今後も本県グッズを増やして故郷の認知度アップに一役買おうと張り切っている。

「新潟」の文字デザイン ロケ誘致へ シャツ配布

ハリウッドで故郷PR

新潟をアピールするTシャツを着る渡部さんの友人＝米国ロサンゼルス

Tシャツは「新潟」の文字と、古町芸妓の着物の柄、地酒などを組み合わせたデザイン。「ニイガタでエイガとろろぜ」とのキャッチコピーも盛り込んだ。米国人が「どういう意味？」と興味を持つよう、あえて英語でなく日本語を使っ

新潟をアピールするTシャツを着る渡部さんの友人＝米国ロサンゼルス

た。渡部さんと高野さんは現地で知り合い、ロケ誘致のグッズを作ろうと意気投合。今後は新潟をアピールするデザインのつまようじケースなどを作る。

渡部さんは、ことし1、2月に新潟市中央区と長岡市で撮影したサスペンス映画「チェイン」(連鎖)のプロデューサー。チェインは今夏から秋にかけて日米で公開を目指しており「Tシャツは、米の映画関係者が新潟に関心を持つきっかけにしたい。将来、故郷がロケで盛り上がることに繋がったらうれしい」と期待する。

県フィルムコミッション協議会(新潟市中央区)によると県内での米国映画ロケは、「HACHTI

約束の犬(2009年)港で撮影された例が一部のシーンが新潟空